

分科会（厚生文教委員会所管分野）

基本目標1

「誰もが健康ですこやかに暮らせるまち」

森 委員(座長)、小川 委員、
近藤 委員、小山 委員、村山 委員、
山崎 委員、香取 委員

施策分野6 高齢者福祉

施策1 高齢者の生きがいづくり

高齢者の居場所づくり事業

補助金

40万8,000円

分科会での主な意見

この事業は週に1度体操を入れなければならないなど、義務を課している。気楽に立ち寄りといったコンセプトではない。



ボール体操中の様子
(長岡南会館)

高齢者にとっての居場所とはどういうものか「居場所の定義」が不明確では。

高齢者のリーダー育成か、事務を担ってくれる人材が必要では。

高齢者の多くは義務的な拘束を负担に感じているのでは。

予算上は問題ないが、見直しは必要だ。

結果→議会で委員長に討議内容を報告するよう求める。

基本目標2

「子どもたちがのびのびと育つまち」

施策分野1 子育てしやすい環境

施策1 切れ目のない妊産婦・子ども・家庭への支援

出産・子育て
応援事業

総額2,349万8,000円

分科会での主な意見

町の子育て応援事業は大変充実している。

高校生の医療費の所得制限を撤廃したのは評価できる。

子育ては充実しているが「子育て」には課題があり、局面や段階に合わせて対処する必要がある。



子育て…子どもが自ら吸収して成長しようとするように、保護者や大人が手助けすること。

教育委員会と子育て応援課が子育てについて連携を深めるべきでは。

就学前までは充実しているが、小・中学校に上がると不登校や学力問題が発生する。ここに課題がある。

結果→議会で委員長に討議内容を報告するよう求める。

期待に応える予算か！ 議会の判断は！



討議の様子

予算特別委員会4日目は、討議事項を抽出し全委員で討議を行いました。今回も、事業内容の評価から「長期総合計画の目標実現に有効な事業予算が組まれているか。執行計画は効率的か」という視点に立って、総務産業建設委員会、厚生文教委員会の所管する内容について分科会形式で討議を行いました。分科会での討議終了後、各分科会から討議結果の報告があり、全体でのコンセンサスを図りました。

分科会（総務産業建設委員会所管分野）

長期総合計画の基本目標6

「便利で快適に暮らせるまち」

石川 委員(座長)、下澤 委員、
大坪 委員、下野 委員、榎本 委員、
村上 委員、原 委員

施策分野1 計画的なまちづくりの推進

施策2 計画的な土地利用の推進

立地適正化計画
作成委託料
1,023万円

分科会での主な意見

モノレールの延伸を見据えて、周辺地域の土地利用を進める上で、立地適正化計画を策定する予算を計上したのは評価できる。

この計画は町の機能をコンパクト化する話だと理解しているが、現時点ですでにコンパクト化している町だと思う。計画を策定する必要があるのか疑問だ。

人口減少に対応していくための都市づくり計画で必要な事業である。

土地利用の規制を外す機会と捉えたい。

マスタープランでは、令和12年が3万3,000人、令和22年が3万4,000人となっているが、人口は減少傾向にある。この計画がどう人口フレームで策定されるのか注視する必要がある。

2年間で作成する計画なので、作成過程を注視していく必要がある。

結果→議会で委員長に討議内容を報告するよう求める。